



警告 安全のために

ソニー製品は安全に十分配慮して設計されています。しかし、電気製品は、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。



安全のための注意事項を守る

この取扱説明書の注意事項をよくお読みください。

定期的に点検する

1年に1度は、ACパワーアダプターのプラグ部とコンセントの間にほりこがたまっていないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、ACパワーアダプターなどが破損しているのに気付いたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口 に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、煙が出たら



- 1 ACパワーアダプターをコンセントから抜く。
- 2 電話回線コードを抜く。
- 3 お買い上げ店またはソニーサービス窓口 に修理を依頼する(修理時は、親機と子機を両方お持ちください)。

警告表示の意味

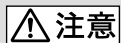
取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。



この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。



この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



行為を禁止する記号



行為を指示する記号



コードレス通信ユニット

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。



電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱い方を示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

CTU-50

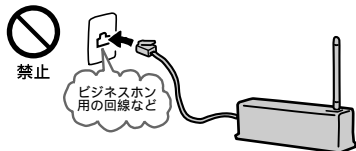
Sony Corporation ©1998 Printed in Japan



下記の注意事項を守らないと火災・感電により大けがの原因となります。

ホームテレホン・ビジネスホン用の回線などに接続しない

本機をホームテレホン・ビジネスホン用の回線に接続すると、必要以上の電流が流れ、故障・発熱・火災の原因となります。回線の種類などをお確かめの上、ご使用ください。



内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐにACパワーアダプターをコンセントから抜き、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。



本機は国内専用です

交流100Vの電源でお使いください。海外などで、異なる電源電圧で使用すると、火災・感電の原因となります。また、付属のACパワーアダプター以外は使用しないでください。

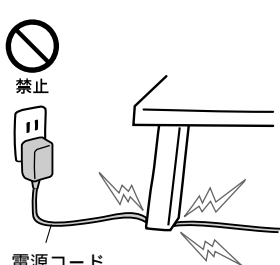


ACパワーアダプターのコードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。

- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけない。加熱しない。
- 電源コードを抜くときは、必ずACパワーアダプターを持って抜く。
- 電源コードを金属などで柱などに固定しない。

万一、電源コードが傷んだら、お買い上げ店またはソニーサービス窓口 に交換をご依頼ください。



内部を開けない

故障・感電・火災の原因となります。お客様が本機の分解や改造をすることは法律で禁止されています。内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

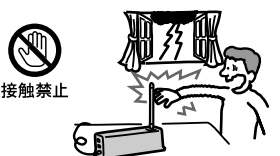


湿気やほこり、油煙、湯気が多い場所や、直射日光の当たる場所、熱い場所(暖房器具の近く)、極端に寒い場所、振動の多い場所には置かない
火災や感電の原因となります。



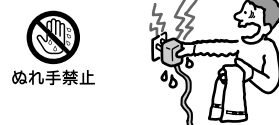
雷が鳴りだしたら、本機、電話回線コード、ACパワーアダプター、電源コードに触れない

感電の原因となります。



下記の注意事項を守らないとけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

ぬれた手でACパワーアダプターに触らない
感電の原因となる場合があります。



電話回線コードを傷つけない

電話回線コードを傷つけると、感電の原因となる場合があります。

- 電話回線コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけない。加熱しない。
- 電話回線コードを抜くときは、必ずプラグのツメを押さえて抜く。
- 電話回線コードを金属などで柱などに固定しない。

万一、電話回線コードが傷んだら、新しいものにお取り替えください。詳しくは、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

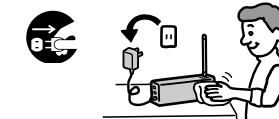


医療機器の近くで使用する場合は必ず使用許可を得る

本機の発する電磁波が、医療機器に影響を及ぼす場合があります。医療機器の近くで本機をご使用になる場合は、必ず医師に使用許可を得てください。

お手入れの際、ACパワーアダプターを抜く

ACパワーアダプターを差し込んだままお手入れをすると、感電の原因となります。



正しくお使いいただくために

取り扱いについて

- 本機の内部を改造することは法律で禁じられています。
- 本機は、親機と子機の間で電波を使って通信します。無線機を使用している場所や放送局の近くなどでは電波障害を受けることがあります。
- 本機は国内用です。海外ではお使いになれません。
- ISDN回線のTA(ターミナルアダプター)の機種によっては、アナログポートに本機を接続しても使えない場合があります。

お手入れについて

キャビネットは柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどいときは、中性洗剤液を水でうすめたもので湿らせた布で拭いたあと、から拭きします。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げを傷めますので使わないでください。

接続できるデジタルCSチューナーについて

本機と接続できるのは、発信時に電話回線の発信音を確認する機能を持つ認定機器(DST-D900/800JS/700JS/500JSなどソニー製デジタルCSチューナー)に限ります。他社のデジタルCSチューナーと接続しても、お使いになれません。

各部の名前

親機

電話回線につなぎます。

- 電源ランプ(緑色)
ACパワーアダプターをつないでいるときに点灯します。
- アンテナ
- ダイヤルモードセレクター(10/20/T)
電話回線の種類を切り換えます。
- 回線端子
電話回線コードをつなぎます。
- DC IN 9V端子
ACパワーアダプターをつなぎます。

子機

デジタルCSチューナーにつなぎます。

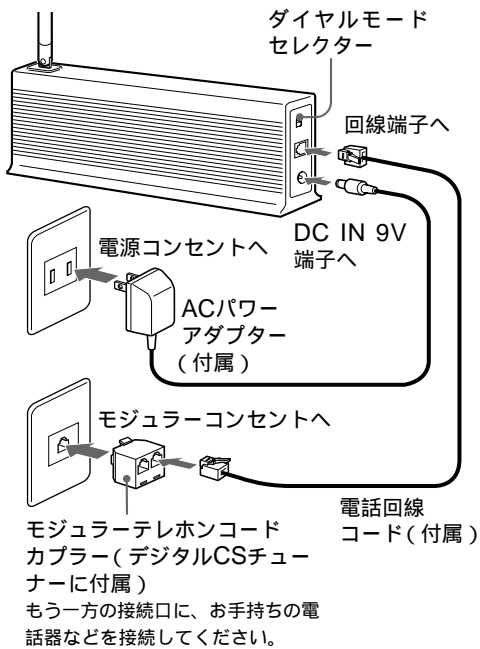
- 電源ランプ(緑色)
ACパワーアダプターをつないでいるときに点灯します。
- 通話ランプ(黄色)
親機と子機が通信中に点灯します。
- 通話可ランプ(オレンジ色)
データの通信が可能になると点灯します。
- アンテナ
- チューナー端子
電話回線コードをつなぎます。
- DC IN 9V端子
ACパワーアダプターをつなぎます。
- 通話ボタン*
子機の準備で使用します。
- 切ボタン*
子機の準備で使用します。
- 数字ボタン*/10登録ボタン*
使用しません。

*7~10のボタンは、通常は使用しないのでふたを開けておいてください。

親機を準備する

親機はランプが1つのほうです。

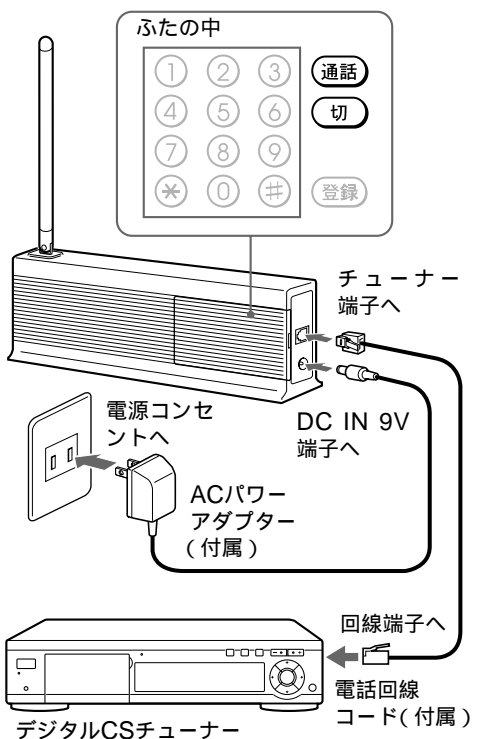
- 付属の電話回線コードをつなぐ。
一方は、親機の回線端子へ、もう一方は、壁のモジュラーコンセントにつなぎます。
デジタルCSチューナーに付属のモジュラーテレホンコードカバーをお使いください。
- ダイヤルモードを切り換える。
ご使用の電話回線の種類に合わせて切り換えてください。電話回線の種類については、電話機の取扱説明書をご覧ください。NTTにお問い合わせください。
ダイヤルモード
● 10 — 10ppsダイヤル回線のとき
● 20 — 20ppsダイヤル回線のとき
● T — プッシュ回線(トーン)のとき
- ACパワーアダプターをつなぐ。
電源ランプ(緑色)が点灯します。
- アンテナを垂直にたてて、安定した場所に置く。



子機を準備する

子機はランプが3つのほうです。

- ドライバーなどでふたを開ける。
- 付属の電話回線コードでデジタルCSチューナーにつなぐ。
- ACパワーアダプターをつなぐ。
電源ランプ(緑色)が点灯します。
- アンテナを垂直にたてて、安定した場所に置く。
- ふたの中の通話ボタンを押す。
通話ランプ(黄色)と通話可ランプ(オレンジ色)が点灯することを確認してください。ランプが点灯すると親機と子機間の通信ができます。通話可ランプが点灯しない場合は子機を動かして、点灯する場所に置いてください。
- 切ボタンを押す。
通話ランプが消えるのを確認してください。切ボタンを押さなくても約1分後に通話ランプは消えます。
- ふたを閉める。
ふたは使用しないボタンなので、ふたはきつくできています。きちんと閉めてください。この後、本機と電話回線の通信テストをします。「接続テストとデジタルCSチューナーの設定」をご覧ください。



親機・子機の置き場所について

- 本機は、親機と子機の間で電波を使って通信します。次のような磁気や電気雑音の影響を受ける場所で使用すると、通信が切れることがあります。
 - 妨害電波を発生する恐れがあるものの近く
テレビゲーム機、パソコン、ステレオ、電子レンジ、こたつ、無線機、インバーター式蛍光灯など。
 - 交通の激しい道路の近く
 - テレビ、ラジオの放送局の近く

ご家庭でコードレス電話機が使われている場合は、親機どうしは離してください。離す距離は、電話器によって異なりますが、5cm以上が目安です。

子機の通話範囲について

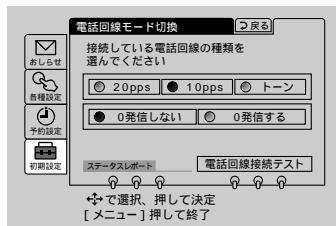
親機から約30メートルの範囲で使えます。ただし、使用環境(コンクリート壁、金属の扉、金属箔のついた断熱材など)によって通話範囲は変わります。初めてお使いになるときに、使用できる範囲をご確認ください。「子機を準備する」の手順5をご覧ください。子機が親機から離れすぎていると、通信できないことがあります。

接続テストとデジタルCSチューナーの設定

親機と子機の準備が済んだら、デジタルCSチューナー側で電話回線モードを「10pps」に固定し、接続テストをしてください。デジタルCSチューナーの取扱説明書もあわせてご覧ください。

- デジタルCSチューナーとテレビの電源を入れ、メニューボタンを押す。
- 「初期設定」を選び、決定する。
- 「電話回線モード切換」を選び、決定する。

デジタルCSチューナーDST-D900の画面



- 「10pps」を選び、決定する。
ご使用の電話回線の種類にかかわらず、本機をお使いの場合は「10pps」を選んでください。

- 「0発信しない」または「0発信する」を選び、決定する。
電話をかけるときに、電話番号の前に「0」を押す(まわす)場合は「する」にしてください。そうでない場合は「しない」にしてください。
- 「電話回線接続テスト」を選び、決定する。
接続が正しければ「...正しく接続されています」と表示されます。
「接続を確認してください」と表示されたら、もう一度「親機を準備する」、「子機を準備する」をご覧になり、接続と設定を確認してください。
- メニューボタンを押して、メニューを消す。

ご注意

本機をお使いの場合は、接続テストをした後も、ご使用の電話回線の種類に関わらず、デジタルCSチューナー本体は、必ず「10pps」の設定のままにしておいてください。他の設定にすると、本機が正常に通信できなくなり、間違い電話をかけてしまいます。

主な仕様

機器名	CTU-50	親機	電源	DC 9V(付属のACパワーアダプターAC-TU50使用)
適合認定番号	底面に記載		消費電力	単体待機時: 約0.8W 動作時最大: 約1.3W
ダイヤル方式	回転ダイヤル回線/プッシュホン回線 切り換え可能		最大外形寸法	200x65x35 mm (幅x高さx奥行き、アンテナ部含まず)
付属品	電話回線コード(長さ1.5m)(2) ACパワーアダプター AC-TU50(2) 取扱説明書(1) 保証書(1) ソニーご相談窓口のご案内(1)		質量	約160g
		子機	仕様は親機と同じ	

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

故障かな?と思ったら

通信ができない	<ul style="list-style-type: none"> ■ デジタルCSチューナーの「電話回線モード」は「10pps」になっていますか? ■ 子機と親機をそれぞれ正しくつないでいますか? ■ 親機のダイヤルモードは正しく設定されていますか? ■ 親機と子機の間には障害になるものがありますか? ■ 親機と子機の距離を縮める。または高い所に置く。 ■ 付属の電話回線コード以外のコードを使っていませんか?
同じ電話回線につないでいる電話機などで、電話がかけられない	<ul style="list-style-type: none"> ■ コードレス電話をご使用の場合は、親機同士をなるべく離してください。

それでも具合が悪いときはお買い上げ店がお近くのサービス窓口にご相談ください。

保証書とアフターサービス

保証書について

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

正常な使用状態で本製品に故障が生じた場合、当社は本製品の保証書に定められた条件に従って修理をいたします。ただし、本製品の故障、誤動作または不具合により、デジタルCSチューナーの通信による利用の機会を逸したために発生した損害等の付随的損害の補償については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

アフターサービスについて

調子が悪いときはまずチェックを	この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。
それでも具合が悪いときは	お買い上げ店、または、添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にある、お近くのソニーサービス窓口にご相談ください。
保証期間中の修理は	保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。
保証期間経過後の修理は	修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社では、コードレス通信ユニットの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後最低7年間保有しています。この部品保有期間を修理可能な期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては、修理可能な場合がありますので、お買い上げ店が、サービス窓口にご相談ください。

ご相談になるときは次のことをお知らせください。

型名: CTU-50

故障の状態: できるだけ詳しく

お買い上げ年月日:

アフターサービスを依頼されるときは必ず親機、子機と一緒に持ちください。両方そろっていないと修理できないことがあります。

お買い上げ店
TEL.
お近くのサービスステーション
TEL.

ソニー株式会社 141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35	
お問い合わせはお客ご相談センターへ	受付時間: 月~金 9:00~20:00、土・日・祝日 9:00~17:00
● ナビダイヤル	0570-00-3311
(全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます)	
● 携帯電話・PHSでのご利用は	03-5448-3311
● Fax	0466-31-2595

<http://www.sony.co.jp/>

この説明書は再生紙を使用しています。